

## 聖路加国際病院礼拝堂聖歌隊 2003年総会 記録

日 時：2003年3月23日（日）礼拝後～13：30

場 所：研修室C

出席者：大竹惟司、小川、大八木、山辺、関敦子、内田恵美子、原川、中島、遠藤、田島、  
内田研吾、川津、大西信一、関武矩、大西礼子 以上15名  
井原司祭（中途退席）

議 事：司会は川津

### 1. 開会のお祈り （大竹隊長）

### 2. 昨年度の総括 （大竹隊長）

- ・ 礼拝ではアンセム24～25曲を奉唱、落第点は2曲、聖歌で不十分な歌唱が1曲あった。
- ・ 合宿はつつがなく終了した。レクイエムは Hammond オルガンを使用した。聴衆にも好評だった。クリスマス礼拝の奉唱は練習不足の感があった。
- ・ 礼拝委員がこまめに連絡をしているので、応答（欠席通知）をきちんとしてほしい。

### 3. 今年度の方針 （大竹隊長）

- ・ 今年度のアンセムの新曲は6曲。うち1曲はラテン語。邦人作品とイ・ゴンニョン氏の作品も扱う。
- ・ 聖歌隊が「教会内で浮き上がった存在」になりがちと考え、一案として、陪餐後は聖歌隊席に戻らず、下で礼拝に加わることにした。他グループとの交流やチャペル行事における奉仕、他教会訪問も考えたい。
- ・ 歌唱力のレベルアップ（①読譜力をつける②ハーモニーに敏感になる）を図りたい。
- ・ 今年度の2・4週以外の予定  
4/20 イースター、6/8 聖霊降臨日 （ともにキャソック着用）  
8/22（金）～25（月）夏期合宿（21日（木）は聖路加ハウス宿泊可能日）  
11/2（日）レクイエム奉唱（モーツァルト） 12/24（水）イブ礼拝（キャソック着用）  
3/21（金、祭日）のような集中練習もまた企画したい。

### 4. 2003年度分聖歌隊名簿の説明（大西信一）、チェック後に配布

### 5. 各委員からの報告

〈財務：内田研吾〉（資料：2002年度 聖ルカ聖歌隊 会計報告）

- ・ 打ち上げの飲食でほとんどが使われるのは問題。楽譜の購入などに充てたい。
- ・ 隊費を6000円に値上げしたい。途中入隊者には、入隊月から月割り500円計算で年度分を納入してもらおう。→決算報告と隊費値上げは拍手で承認された。

〈企画：内田恵美子〉（資料：2002年度 企画委員報告）

- ・ ホーリネス教会へ過去2度訪問したので、今度はこちらにお招きしたい。
- ・ 合宿から戻った折、チャペルでコンサートを行ないたい。

- ・ 聖公会の身近な教会を訪問したい。(先方の受け入れ体制も考慮の上)
- ・ レクイエムの打ち上げには、いろいろ問題があるので、隊員の意見を聞きたい。

<管理 生井・馬渡が共に不在のため、係補助の大竹隊長より>

- ・ 今年度の楽譜は整備完了。

<礼拝 大西信一>

- ・ 昨年度の報告 主日礼拝 25 回。礼拝後に行なわれた結婚式に有志が奉仕を数回。隊員数は 27 名(原川さん、西脇さんが入隊)に。受洗者は田島さん(洗礼名はリュージュのテレジア)。1 回当たりの礼拝出席者数は 1 昨年の 16.8 人から 18.28 人に。
- ・ 礼拝後のお茶の際は、聖歌隊員で固まらず、会衆と交流を深めてほしい。
- ・ 夕拝を企画したい。
- ・ 2・4 週の礼拝後の結婚式や、場合によっては葬儀で奉仕したい。
- ・ 病院関連の行事にも、曜日上厳しいかも知れないが、加わりたい。昨年は 100 周年記念パーティに参加した。

<広報 大西礼子>

- ・ 記録者としての仕事しか出来なかった。会議の議事録や作成した各種パンフレットなどをファイルした。

## 6. 意見交換

<レクイエム後の打ち上げに関して>

- ・ 慰労の意味なら、自分たちだけで行なうのはおかしいのではないか。
- ・ 隊員およびフェスティバルクワイヤーが参加する慰労の場を設けたい。(以前ロビーでその形で行なったこともある。)
- ・ 奉唱参加者で井原先生のお話や隊長の講評を聞きたい。
- ・ さらに聴衆も含めてできないか。
- ・ 参加したい人が参加できる形ならよいのではないか。
- ・ 夕食代わりということなら、弁当やサンドイッチを取ったらどうか。ケータリングサービスも考えてはどうか。
- ・ 隊員のための打ち上げも、やるのはこの日しかないのではないか。隊員の夕食をいつどういう形で取るかも考える必要があるのではないか。
- ・ 隊員のための従来のような打ち上げは、レクイエム後にふさわしいものかどうか疑問。
- ・ 奉唱後にフェスティバルクワイヤー共々、レストランなどに移動して飲食するという事は物理的に無理。
- ・ ロビーではアルコールは禁止。
- ・ 内容によっては会費の徴収も必要。
- ・ ポット入りのお茶と簡単なお菓子だけを出すにしても、隊員だけで準備することは厳しく、チャペル委員の協力を仰がねばならない。

⇒以上の意見を考慮の上、新年度の企画委員で検討する。

なお、レクイエムのフェスティバルクワイヤーと交流を深める意味で、今年度は、初めに自己紹介を行なう、名札をつけることなどが既に検討されている。

〈金曜夜の練習についての案（この練習に事情で参加できない人もいる）〉

- ・ 第5週の日曜に集中的に行なう。
- ・ 2・4週の礼拝後の練習を長くする。その場合、練習前におにぎりなど用意して軽く昼食をとる。
- ・ 単発で開催する。

⇒以上の意見を考慮し、いくつかの選択肢を用意する方向で検討する。

〈楽譜のコピー場所について（チャペル秘書から、チャペルで多数部を取ることを控えて病院で取ってほしいと言われた）〉

- ・ 病院の輪転機で取れば安価なのは事実。
- ・ 病院という環境で周囲に配慮しながら大量にコピーを取ることは、ためらいがある。
- ・ 看護大学で取らせてもらったこともある。
- ・ チャペルのコピー機はリースであり、大量にコピーしてカウントされて目立ったから言われたのかもしれない。しかし、クワイヤーはチャペル団体であり、チャペルのコピー機を使用することに問題があるとは思えない。チャペル委員の関氏からチャペル委員会に実情を話してもらい、理解を求め。〈昨年度は楽譜の書き換えを実施したため大量のコピーを行なった。今後もこのペースで行なうわけではない。〉

## 7. 新委員の選出

- ・ 企画・渉外 : 内田恵美子、玉木
- ・ 財務 : 内田研吾
- ・ 備品管理 : 大竹惟司、田島、生井
- ・ 礼拝 : 大西信一
- ・ 記録 : 大西礼子、田島 ※「広報」を「記録」に変更。

以上 記録 大西礼子